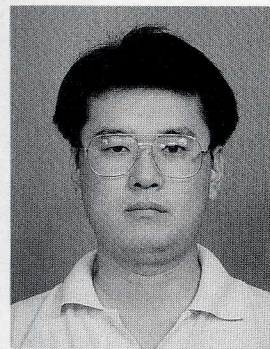


あなたの姓は何ですか

写真・金 成燦
(Kim, Sung Chan)



韓国人と姓

私の名前は金成燦で、本貫は金海で、派は三賢派です。また、金海金氏の始祖の金首露王の七十代孫です。たいていの韓国人たちは、初対面の人と出会った時このように姓についてよく話します。

韓国人が豊富なそして面白い話題を取り出すのが下手だから、こんな退屈な話ばかりしているのだろうか。必ずしもそうでないのは、昔からあった韓国人のしきたり、および意識の底にある民族文化の一つであるからだ。

自分の姓については自尊心をもっているのは当たり前で、人と会ったとき同じ姓を持っているのをお互いに確認し、初めに会っても親しみを感じるのだ。このような面が過ぎて、血縁、地縁に絡んでいろんな不都合が起きたりするが、根本的には韓国人の根深く、美しい伝統の中の一つである。

歴史的な面を見ても、外勢によって侵略されて創氏改名などを押しつけられ、もの悲しい苦勞をしたことがあるけれども、大勢の韓国人は自分の姓だけは誰にも与えられないものだと言っている。死で姓を守ってきたのだ。

私が韓国で暮らしてきた時間と比べたら、日本で暮らしたのはほんの二年ぐらいいだけです。私を知っている人なら誰でもわかっていることだけど、この二年間文化の差に驚いたりうなずいたり、心の中で異国の難しさを感じながら、緊張感を持って日々を過ごしてきました。

考え方のちがひ

文化の差と言えばいろいろあるところがあるけど、先に私が言った通り、姓についての考え方もすぐく差が感じられる。日本では、女の人が結婚すれば大抵主人の姓に従うことになっている。場合によっては、主人が妻の姓に従うこともあるというが、もちろん、世界中で日本だけが夫婦同姓を使っているわけはないけど…。

でも、こんなことがもし韓国で起きたら、年寄りの人たちは必ず驚くだろう。自分の姓を捨てて自分を認められると思っているなんて、考えられないことだと言うだろう。

しかし、日本はそうではなかった。夫婦が同姓を使っているのは日本のしきたりだったのだ。昔はあまりそんなことがなかったから、問題にならなかったのかもしれない。最近

社会問題になっているのが夫婦同姓らしいが、これが問題として扱われている原因の一つが離婚した場合だ。女の人が主人の姓に従っていきなり、離婚してまた子連れの再婚をした場合、その子供の姓はまた変わらなければならなくなるのだ。

いつか新聞でこの問題について、女性二人が意見を述べているのが掲載されていたので、私も個人的に周りの人に聞いてみたことがあった。「離婚の場合子供の姓は？」大抵の人たちはあまり考えたことがないと答えた。もちろん、目先のことではないから簡単に答えたかもしれないが、自分の姓、自分の家系について何気なく思っているなんて…。自分の姓の重要性を教育されて生きてきた私には少しショックだった。それで、もう一つの質問を試してみた。「天皇の姓は何ですか？」と。

これには本当に啞然とした。大抵の人たちがあまりにもはっきり「わかりません」と言ったのだ。天皇は姓を持っていないのか、それともただ天皇のことだから知る必要がなかったのかわからず知らずそのまま生きてきたのか、それとも姓についてあまり関心がなかったのか。

我国では、歴史上の王朝の姓および現統

プロフィール

- ◆大韓民国釜山出身
- ◆一九八五年ソウル大学卒業
- ◆一九八七年ソウル大学修士課程修了
- ◆一九八七〜九四年韓国の三星重工業(株)勤務
- ◆一九九四年十月広島大学工学研究科特別課程入学

領の姓はもちろん家系にも非常に関心を持って、誰でもわかっているのだ。これは、当然という言葉を使っても構わないと思う。

小さな文化の差から感じたこと

考えてみたら何の問題にもならないごく小さな文化の差かも知れない。私が当然だと思ったことが日本人にはあつけない質問になったり、礼儀がない質問になるかも知れない。時には、感情を傷つけるかもしれない。特に他人の感情に気を使って婉曲な表現をよく使う日本の慣習によれば、私の質問はとても直接的で無礼らしい。

しかし、現代は国際化時代なので日本人も外国人の生活方式および文化などを理解する努力も必要だと思う。人々の姓でもいろいろな差があるし、全体的にはいくつもの差があるだろう。互いに他文化を理解するための努力の基盤の上に望ましい相互協力ができると思います。

しかし、まだ疑問が残っている。「天皇の姓は何ですか？」